

令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	ふるさと上谷沼 地域創造塾
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南区事務所
3	協力団体	ふるさと上谷沼 地域創造塾
4	活動年月日	令和3年7月24日、31日、8月7日、21日、28日 9月4日、11日、18日（朝活） 令和3年8月10日、17日（夕活）
5	活動場所	上谷沼調節池
6	内容	外来植物やごみの除去作業

7 活動の様子



今回の活動では上谷沼調節池に生えている外来植物のオオブタクサの除去作業を行いました。

団体の方からオオブタクサの特徴を説明してもらい、除去作業を始めます。

コロナ禍の活動でしたが、三密を避け、感染症対策を徹底し、無事開催することができました。

小学生から参加できるメニューなので親子で参加して下さる方も多く見られました。

大きいもので3mにもなるオオブタクサは一人の力では抜くことが出来ません。

みんなで「せーの！」と力を合わせて引っっこ抜きました。

一人ではできないことも、みんなで力を合わせればできることを学ぶことができました。



令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	マスクケース作り
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会緑区事務所
3	協力団体	おぶさと健康クラブ
4	活動年月日	令和3年8月5日、6日
5	活動場所	それぞれの自宅で実施
6	内容	フェルトでマスクケースを作り、地域の方に寄付をする。

7 活動の様子

フェルトでマスクケース作り



集まって行う予定のところ、感染拡大の影響により、各自宅で行う形となりました。参加者だけではなく、ご家族と一緒に作成してもらうことができ、合計で約30部のマスクケースが出来上がりました！

作り方の冊子をみなさんに配りました！

完成品

作ったマスクケースは、地域の高齢者やボランティアの方にお渡しします！



令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	尾間木点字サークル
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会緑区事務所
3	協力団体	尾間木点字サークル
4	活動年月日	令和3年8月19日
5	活動場所	尾間木公民館 3階会議室
6	内容	点字器を使った、点字を打つ体験。点字を使った名刺作り。

7 活動の様子

「点字を身近に感じていただきたい」という思いから、このプログラムを実施することになりました。
 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため人数を制限し、小学4年生～専門学生11名の方にご参加いただきました。



今回の体験を通して、視覚障害者の方の大変さや、ボランティアの方の努力が伝わってきました。
 (10代 男性)



点字を打つ、点字を読む、すべてがはじめての体験でした！
 (10代 女性)



これからは、身近にある点字に目を向けてみたいです。
 (10代 女性)

身の回りの点字に目を向けたり、興味を持ってくれたら嬉しいです。
 (尾間木点字サークルより)

令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	手話を学ぼう！
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 地域福祉課
3	協力団体	さいたま市聴覚障害者協会 さいたま市手話通訳問題研究会
4	活動年月日	令和3年10月3日
5	活動場所	浦和ふれあい館
6	内容	「手話」を楽しく学んで聞こえない方と交流しよう！
7	活動の様子	<p>ボランティア体験学習「手話を楽しく学んで、聞こえない方と交流しよう」を実施しました。</p> <p>聞こえないってどういうこと？とのお話を聞いたり、手話で挨拶や自己紹介を覚えたりしました。</p> <div data-bbox="245 891 847 1039" data-label="Text"> <p>挨拶の仕方が分かったから使ってみたい。</p> </div> <div data-bbox="245 1106 847 1285" data-label="Text"> <p>緊張したけど、手話が分かってよかったです、楽しかった！</p> </div> <div data-bbox="245 1330 810 1800" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="884 842 1437 1384" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="826 1435 1449 1749" data-label="Text"> <p>お題を引いてジェスチャーや手話で聞こえない人に聞いてみよう！ ヘルプカードを使って、手話通訳者に助けを求めてもいいよ！</p> </div> <p>★メッセージ★ 少人数でしたが、「このような機会があれば、また次も参加したい！」 「地域に聞こえない人がいて、手話を使って生活していることをみんなが知ることが大事だと思った。」という感想が聞かれました。 皆さんも、聞こえない人のことば「手話」を学んで、聞こえない人との会話にチャレンジしてみませんか？</p>